

次期区ビジョン基本方針(案)について

1 区ビジョン基本方針とは

区民と行政が区の将来像を共有し、お互いに役割を分担しながら協働するため、区自治協議会に代表される区民と、区役所が協働して、区におけるまちづくりの基本的な方針

- 現在の事務局(案)です。各委員からの意見を踏まえ、改めて3月の自治協議会にて、正式に意見を伺う予定です。
- 資料2-1は、現行の方針と変更した箇所がわかるよう変更趣旨欄にその理由を記載しています。
- 資料2-2は、基本方針(案)の冊子イメージです。区の概要なども記載されています。
- なお、現行の基本方針は江南区ホームページに掲載しています。
江南区 > 江南区の取り組み > 政策・計画・取組み > ビジョン・計画
> 区ビジョン(平成27年度～)

区の将来像	
(案)	変更趣旨
緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち	これまで掲げてきた将来像を継承し変更しない

目指す区のすがた

- ・ I～Vの5つの柱での構成は継続性を保つため維持したが、現状や課題などを踏まえ、変更趣旨のとおり柱の名称や文章を修正した。

(案)	変更趣旨
I 豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち	変更なし
○ 緑豊かに広がる田園風景と信濃川、阿賀野川、小阿賀野川を結ぶ水と緑のネットワークづくりやその活用を図ります。また、資源循環型社会の構築を目指した環境にやさしいまちづくりを推進するなど、自然環境との共生を図り、未来の世代につなげます。	読みやすいようこれまで1つの文章だったものを2つの文章に修正した。
○ 主要な道路やJR信越本線などで構成する交通結節点や、中央卸売市場・工業団地といった各種拠点施設などの重要な社会資本を有効活用し、人と物が交流し誰もがいきいきと快適に生活できるよう、道路や公共交通などの環境整備を進め、都市機能の向上を図ります。	現在改定中の都市計画マスタープランの区別構想における区づくりの方向性にて、「重要な社会資本を有効活用したまちづくり」、「道路ネットワークの構築」、「公共交通ネットワークの確保」などが挙げられており、それと整合を図ったため。

II 人と人とのつながりを大切にする安心安全なまち		変更なし
○	さまざまな自然災害に備え、地域と連携し、区民一人ひとりが適切な行動がとれる災害に強いまちづくりを進めます。 自らの安全は自ら守り、地域の安全は地域で守る交通安全・防犯意識の高い地域社会の実現を目指します。	区民一人ひとりがその危険性を認識し、自らの命を守るための行動や一人で避難できない方への支援などを地域とともに進めていく必要があるため文言を修正。
○	人と人、活動と活動をつなぐネットワークづくりや身近な地域の交流の場づくりなど、みんなでささえあい、だれもが住み慣れた地域で健やかに安心して暮らせるまちを目指します。	基本的な趣旨に変更はないが、令和3年度に改定した「江南区地域福祉計画・江南区地域福祉活動計画」(令和3年度～8年度)の基本理念に合わせた表現に修正した。
III 産業と地域の魅力が輝くまち		農産物や亀田縞など江南区の特性や強みを活かすことをより重視していく姿勢を示すため文言を修正。
○	地域ごとの魅力ある農産物をはじめ、伝統産業の亀田縞、新たな工業団地など、農商工それぞれの特性を活かした、持続可能な産業の形成を目指します。	労働力人口の減少など社会環境の変化に伴い、地域資源を活かした持続可能な産業の形成を目指すため。
○	区内商業地の拠点である亀田地区の賑わいづくりを進めるとともに、それぞれの地域が連携し、区全体の地域商業の活性化を目指します。	区内5地区の個性や魅力を活かしながら、区全体の商業の活性化を図るため。
○	更なる企業誘致や農商工・農福連携による新たなビジネスの創出、若者のUターン就職に向けて取り組むなど、雇用機会の拡大を目指します。	恵まれた立地条件を活かして、各種雇用機会の拡大につながる取り組みを推進するため。

IV 人が輝き文化が育まれるまち	区ビジョンは、未来に向けて取り組むものなので、冒頭の「未来に向けて」の文言を削除した。
○ 将来を担う子どもたちの健やかな成長に向けて、学校と家庭、多世代にわたる地域の方々の連携により、教育力の向上を図ります。	・子どもたちを人材と表するのは違和感があるため、「大切な人材である」を削除しました。 ・自治協ワークショップのグループワークにおける意見を踏まえ、「多世代にわたる」の文言を加えた。
○ 江南区が有する素晴らしい歴史、伝統、文化を後世に継承し、加えて様々な文化等にふれる機会を提供することにより、区民の地元への誇りや愛着を醸成していくとともに、気軽にスポーツを楽しむことができる環境づくりを進めます。	新しい文化等も尊重し、「先人から受け継がれた歴史や伝統を」から「江南区が有する素晴らしい歴史、伝統、文化を」に変更した。 区民が区内外の様々な文化を通して「地元への誇りや愛着」を高め、そのことが文化活動等の更なる原動力となるように「区民の地元への誇りや愛着を醸成していく」旨を記述。
V 区民が主役となる協働のまち	より複雑化、多様化する地域課題を解決するために、より協働を進めることが不可欠なため「協働」の文言を加え修正。
○ 地域課題解決に向け、区自治協議会、地域コミュニティ協議会、自治会・町内会をはじめ多様な主体がお互いの力を活かし、協働する豊かなコミュニティづくりを区民とともに推進します。	区自治協議会に参画する団体など多様な主体が強みを活かし、協働することが重要であることを明確化するため。
○ 区民の視点に立って迅速・丁寧に対応するとともに、情報発信を強化し、親しみやすい区役所づくりを進めます。	受け手の目線に立った適切な情報の発信や江南区の魅力など発信力を強化していくため。